

新基地建設反対名護共同センターニュース

総選挙、知事選の前哨戦となる県都大決戦 那覇市議選 「オール沖縄」候補の全員勝利を！

出発式へのデニー知事からのメッセージ



ワク川候補（共）の
出発式で応援演説
する赤嶺衆院議員

4日、那覇市議選が告示されました。秋の衆院選、とりわけ沖縄一区・赤嶺衆院議員の議席確保や来年の那覇市長選、知事選の前哨戦となる県都の大決戦です。定数40人に対し、63人が立候補し23人はみ出しの大激戦となっています。都議選では日本共産党と立憲民主党が議席を伸ばしましたが、目黒区では共産党候補がわずかに6票差で惜敗しました。この教訓は、旺盛な宣伝戦を土台に投票箱が閉まるまで声掛けする担い手を広げ、最後まで支持拡大を広げることができるとは、勝敗の分かれ目になることです。現局面の情勢は、日本共産党候補7人はじめ「オール沖縄」候補はそれぞれ当落を争うところまで押し上げてきたものの、取りこぼす危険性を脱していないのが実態です。全県・全国から最後まで支援し「オール沖縄」を勝利させましょう。

都議選の教訓踏まえ最後まで全力で声掛けを

ハイサイグスーヨチューウガナピラ 沖縄県知事の玉城デニーです。お集りの皆様、日頃から県政へのご支援・ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、本日告示を迎えた那覇市議員選挙は、城間那覇市政を支え、辺野古新基地建設を阻止し、一日も早くコロナ禍を乗り越え、那覇市の魅力あるまちづくりのための、決して負けれない選挙です。各候補者の皆さんと県政・市政がスクラムを組み、市議会議員選挙での勝利を目指して、市民一丸となって頑張ってください。お集りの皆様におかれましては、未来を担う子や孫のために「安心・安全の幸福を実感できる沖縄」を創り上げるため、候補者への厚いご支援をよろしくお願い申し上げます。マジュン トウムドウムニ チバティ イチャピラナヤサイ ※編集部訳（みんな 一緒に 頑張っていきましょう）
令和3年7月4日 沖縄県知事 玉城デニー

土地利用法・美謝川付け替え工事許さない名護市民集会開く

へり基地反対協と島ぐるみ会議名護は6月30日、土地利用規制法と辺野古新基地建設に伴う美謝川付け替え工事を許さない市民集会を名護市役所のピロティで開きました。雨の中、市民や市政野党議員など70人余りが参加しました。市議会が二つの意見書を採用吉居俊平市議（共）などが「名護市議会で本日、土地利用規制法の即時廃止を求める意見書・決議と美謝川付け替え工事の中止を求める意見書・決議を賛成多数で可決した」と報告すると「すごい」「快挙だ」と拍手と歓声が起きました。総選挙と名護市長選の勝利誓う稲嶺進前名護市長が閉会挨拶で「辺野古新基地建設は絶対許さない。この勢いで秋の総選挙と来年1月の名護市長選で『オール沖縄』を勝利させよう！」と訴えました。屋良朝博衆院議員（沖縄3区）も「総選挙で政権交代を実現しましょう」と訴え、同沖縄2区の新垣邦男予定候補も挨拶しました。



稲嶺前市長（左から2人目）と市議会野党議員など

「沖縄のたたかいに励まされました」滋賀県の学習会での感想

- 土砂投入が進んだとは言え、総量からすればごく一部であることがわかりました。北側は軟弱地盤があり、完成の見通しはないですね。沖縄のたたかいに励まされました。
- 美しい辺野古の浜がこんなにも埋め立てられて悲しい限りです。一方で沖縄の人たちの奮闘に敬意を表するとともに滋賀でもがんばらねばと励まされています。この解決の方策は安倍・菅政権の早期のストップが必要です。我々もがんばりたいと思います。
- 勇気のあるお話、ありがとうございました。辺野古、大浦湾に行った時のことを思い出しながら聞かせていただきました。勝つまではあきらめない。共にがんばりたいと思います。総選挙で政権交代を！
- 数年前に滋賀年金者組合でキャンパシユワブ前に座り込み連帯行動に参加し、現地の方々、本土各地から支援に来られた時の闘いが現在も続いていることに心強く思います。米国民からも辺野古新基地の不安定化を指摘され、反対運動をもっと強化し、日本国憲法が名実共に実現するようがんばりたい。必ず、新基地の建設を止めましょう。
- 秋の総選挙で野党共闘を勝利させることができます。まず辺野古新基地建設反対につながっていくことを確信しました。地域でも沖縄のことを語っていきます。
- 視聴者は会場14人、オンライン6人の合計20人。講師は名護共同センターの早坂義郎氏。オンライン学習会希望は当共同センター（最上欄参照）にお問い合わせください。

安保破棄滋賀県実委、革新の会しが、滋賀県平和委員会が6月26日に共催したオンライン学習会での感想文を紹介します。

